



第6号 令和3年3月

出雲更生保護女性会だより



愛の図書寄贈運動について

毎年社会を明るくする運動月間を中心に、年中行事の一つとして実施しています愛の図書寄贈運動も、もうすぐ60年を迎えることとなります。

元出雲更生保護女性会会長 武永敦子様のご寄稿の中に「更生保護の仕事はなかなか理解できません。はからずも罪を犯さなくてはならなかった人、犯罪にもいろいろ種類はありますが、特に心の荒れた人々に女性として母の思いを胸深く抱いて事業に参加するよう勧められました。刑務所の厳しい生活に少しでも心を慰めていただこうと愛の図書運動があります。最初は一軒一軒大切な御本を出していただき、各所から集まった本を整理、仕分けをして県連盟に送り、刑務所、児童相談所、少年院、鑑別所、に送られ喜ばれたそうです。それも現品は永く続かず「愛の図書募金」として会員一同で募金活動が始まりました。そして会の運営費も必要です。各各地区別に趣向を凝らして洗濯石鹸を売ったり、生活必需品を売ったりして工夫をしておられましたが、これも続かず募金一本になりました。」と、あります。

7月の“社会を明るくする運動”強化月間に合わせて、暑さに負けず事業所、地区の各戸へ趣意書を持参しお願いに歩きます。集めた浄財で毎年県内の矯正施設など11か所や市内の保育所、幼稚園、小中学校、養護学校に図書券を贈呈しています。出雲においては71校となります。これは、子供たちや心ならずも罪を犯したひとたちに「感動する心」や「人を思いやる心」を培ってほしいと願っての活動です。結果の見えにくい更女の活動ですが、どこかで愛の図書の灯が輝いていることを祈っています。

会長 嘉藤 馥美

令和4年度開催予定！出雲更生保護女性会 結成60周年記念事業に関して動き出す！

去る10月30日高松コミュニティセンターにおいて第1回実行委員会を開催しました。

- メンバーは、・大津 鐘築章恵 ・朝山 加藤澄子 ・神門 嘉藤馥美
・今市 園山久美子 ・四絡 山代恵子 ・川跡 鶴原栄美子
・長浜 森脇絹代 ・高浜 吉川京子 ・乙立 安喰公美 ・大津 佐藤道子
・鳶巣 園山京子 ・古志 加藤澄子

事業の成功に向けて、がんばりますのでよろしくお願いいたします。



更生保護女性会 令和2年度 被表彰者の10人の皆さま おめでとう
ございます！

中国地方更生保護委員会委員長感謝状 土江道子 様

中国地方更生保護女性連盟会長表彰 高橋利美 様

松江保護観察所長感謝状

布野房代 様 ・ 園山恵子 様 ・ 高見由起 様 ・ 原 尚子 様 ・
布野浩子 様 ・ 高瀬恒子 様 ・ 打田美喜子 様 ・ 佐藤道子 様



受賞された方々の感想から

この度は中国地方更生保護委員長様より感謝状をいただき、身にあまる賞に恐縮いたしております。これも皆様のご協力とお支えがあったからと心より感謝申しあげます。さらに、出雲更生保護女性会からは記念の品までいただき、重ねてお礼申しあげます。

昨年から、新型コロナウイルスによる未曾有の脅威にさらされる日々が継続し、更生保護活動もままなりません。せめてもの思いから、私たちは各保育園から中学校まで、タオルで作った雑巾を寄付させていただきました。喜んでいただいたのなら幸いに思います。更生保護女性会として十分なん活動ができないままで、ジレンマとの闘いですが、どなたも同じ思いでいらっしゃることと想像しています。今は、ともに思いを高め、来るべき時期の活動に向け力を蓄えながら新型コロナウイルスの収束を待ち、私たちを生かしていただいた世の中への、「倍返し」というより「恩返し」をこの先も続けていけますよう。半歩ずつでも子育て、人づくりの手助けをしていきたいと念じております。

川跡 土江道子



受賞に寄せて

この度は、中国地方更生保護女性連盟会長表彰を戴き、ありがとうございました。また、出雲更女からも立久恵焼の記念品をいただき重ね重ねありがたいです。

ただ、会員歴が三十数年と長く、皆様と共に活動しているだけですのに、表彰してくださるなんて、感謝の極みです。

この会の素晴らしいことは、研修旅行でなかなか行く機会の無い処、しらぶじ、浜田のあさひ社会復帰センター、松江の刑務所、美保少年院へ連れて行って戴いたことが印象に残っております。

今後とも、この会が続いていきますように、少しでもお手伝いできれば幸いです。

塩冶 高橋利美

誰でも安心して暮らせる地域社会づくりのために一緒に活動しようと誘われ入会して12年が経ちました。先輩諸氏の姿を手本に「愛の募金」活動・子どもの見守り・更生保護マスコットキャラクターほごちゃんの作成・利用した広報、警察職員さんを講師に迎えての研修等些細な活動に対し表彰を受けましたこと身に余る光栄です。有難うございました。コロナウイルス感染症の収束が見えず、様々な活動が制約を受ける昨今です。インターネットを活用したクラウドファンディングという仕組みの検討ということも耳にしました。今回の表彰を叱咤激励と受け止め、時代にそして地域の実情に即した活動を続けたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

高松 打田美喜子



コロナ禍の中で地区の更生保護女性会の活動報

昨年来のコロナ禍が続き、例年みんなで行う「愛の図書運動」も中止せざるを得ませんでした。そんな中でも、何かできることはないかという声があがり、みんなで相談しました。贈呈しても新型コロナ感染の恐れがなく、日常よく使ってもらえるもの、子供たちが喜びそうなものを検討した結果、以前経験した「タオル届け」をして、気持ちのつながりを持とうということになりました。10人の会員がひとり4枚のタオルを持ち寄り、小学校、幼稚園、保育園、養護学校に10枚ずつ直接届けることができました。しかし、子供たちの姿はガラス越しだけ。早くコロナが収束し、子供たちと直接触れ合い、温もりを伝える日が来るのを願うばかりです。

神西 岩成敬子

新型コロナウイルス感染防止のため、次々と行事が取りやめになる中、古志児童クラブへの訪問と通学路の点検の二つはさせていただきました。

古志児童クラブへは8月6日午後から訪問し、ブラックライト紙芝居「すてきな三人組」等を読みました。その後、折り紙でこまを折りました。少し難しいところも、みんなで教え合いながら完成することができました。通学路の点検は10月29日、下新宮地区を歩きました。下新宮地区は山に沿って数キロの道のりがあり、大人でも結構つらい距離でした。通学路用に整備された歩道の上にマムシが現れて驚きました。小学校へも子ども達に気をつけるように注意してくださいと報告しました。

古志 石田裕子



愛の図書贈呈式 (島根県更生保護女性連盟)

第60回愛の贈呈式が12月14日 松江保護観察所で行われました。コロナ禍の為、本年は参加者、時間等縮小された贈呈式でしたが、例年通り10か所に贈呈されました。

会長 嘉藤馥美



令和2年度 島根県更生保護女性連盟 新会員研修に参加して

例年だと、2～3人が参加しますが、今年度はコロナ禍で1名の参加割り当てがありました。

10月15日に松江地方合同庁舎で開催された新会員研修に参加しました。今年度は日程を短縮され、各地区から12名の参加がありました。

更生保護女性会の概況や活動内容、今後期待されることなどを講師の方々からお話いただき、とても勉強になりました。自分にとって今後の道しるべを与えていただいたように感じます。

特に、他地区の皆さんから活動の現状をお聞かせいただいた内容が、とても参考になりました。私自身まだ、経験が浅く、同地区の会員の皆さんに教えていただきながら、身近なボランティア活動に取り組んでいるところです。

この研修を通して得た情報を今後に生かして、より充実した活動を行っていきたいと思います。

古志 伊藤里美



令和2年度事業が新型コロナウイルス感染拡大防止の ため活動縮小 研修旅行・新年会取りやめになる

今年度は今までに例を見ない事態になりました。通常通り何事もなく活動していたことが、変更を余儀なくされ、戸惑いと不安が走りました。一番大切な「愛の募金活動」も例年とは形を変えての実施となり、楽しみにしていた研修旅行や新年会は中止をせざるを得なくなりました。

何よりも良かったことは、会員が元気で過ごせたこと。コロナウイルスに感染しなかったことだと思います。このコロナ禍の中で、されどコロナ禍と肝に銘じて、会則の見直しを時間をかけて検討しました。そして60周年記念事業に向けて実行委員会も発足しました。人数が多いと集会が開けず、遅々たる歩みではありますが、少しずつ前進しています。コロナ禍ではありますが、できることをしようと、活動を考えて行っておられる地域もあります。

皆で頭を寄せて（近寄れないご時世ですが…）知恵を出し合えば、できることがあると信じています。みんなで模索しながら、社会に貢献できること、人が喜ぶこと、一緒に楽しめること、人生がおもしろくなること、うれしいこと等を、今は手が繋がれないのですが、気持ちを繋いで歩みましょう！

